

上天草の地域資源を活用した交流促進事業

きょうらぎ うちのかわうち えすでいーじーず すいしんきょうぎかい

【団体名】教良木・内野河内SDGs推進協議会

地域の現状・課題（取組みの背景）

- 上天草市には、多くの自然や観光資源が存在する一方で、人口減少や少子高齢化が急速に進み、商業施設の売上減少に伴う雇用環境の悪化、後継者不足による耕作放棄地の増大や空き家の増加だけでなく、鳥獣被害といった問題が発生しています。
- また、公共交通の利便性の低下が進み、地域住民の生活水準の維持が難しくなるなど、市民の生活に大きな影響が多方面にわたって出てくることが予想されます。
- そこで、人口減少や少子高齢化が急速に進展する現在において、地方への新しい「ひと」の流れ（＝交流）の創出が極めて重要と考え、上天草の地域資源等を活用した、体験会やワークショップを多数開催し、交流人口の創出に取り組んできました。

取組みの概要

◆「上天草の地域資源を活用したワークショップや空き家見学ツアー」の開催

- ・地域の豊かな自然を生かした農作業体験や、特産品を活用した商品開発を行い、交流人口増加のためのワークショップを開催しました。
- ・上記に加え、上天草地域への移住定住を目的とした空き家見学ツアー実施し、地域内で増加している空き家対策にも取り組みました。



農作業体験の様子

取組みの成果・現在の取組み状況

- 上天草市外からのワークショップ参加者目標数を50名としていましたが、結果として延べ161名の方に参加いただき、目標を大幅に達成することができました。
- 親子連れでの参加者も多く、普段あまり体験することのできない農業体験やモノづくりを体験でき、参加者からも高い満足度を得られました。
- また、R6年度に本補助事業の活用は終了しているものの、今年度は地域の方や教育機関、農家の方などと引き続き連携し、ワークショップの開催に取り組むとともに、地域の課題である人口減少や少子高齢化に加え若者の地域定着の促進を目指し、「持続可能な地域づくり」に取り組んでいきます。



介護施設での野草ワークショップおよび料理教室



介護施設での認知症予防教室